

# 滋賀県の地震

令和6年(2024年)7月

## 目次

### 1 滋賀県の地震活動

(1)震央分布図	-----	1
(2)概況	-----	1
(3)断面図	-----	2
(4)滋賀県で震度1以上を観測した地震の表	-----	3
(5)滋賀県で震度1以上を観測した地震の震度分布図	-----	3

### 2 琵琶湖西岸断層帯周辺の地震活動

(1)震央分布図・時空間分布図・地震活動経過図	-----	4
(2)概況	-----	4

### 3 地震一口メモ

火山について	-----	5
--------	-------	---

「滋賀県の地震」は彦根地方気象台における地震業務の一環として、県下の皆様に県内の地震活動状況をお知らせするとともに、防災知識の普及に努め、皆様のお役に立てることを目的とし、毎月刊行しています。

「滋賀県の地震」は上記目次で構成し、適宜地震活動把握のための解説資料や用語解説等を掲載します。本資料に関する問い合わせは「彦根地方気象台（電話 0749-22-6142）」にお願いします。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。

また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

滋賀県内の震度情報発表地点は彦根地方気象台ホームページに掲載しています。

<https://www.data.jma.go.jp/hikone/seismo/seismo.html>

本資料の震源要素及び震度データは、後日再調査の上修正されることがあります。

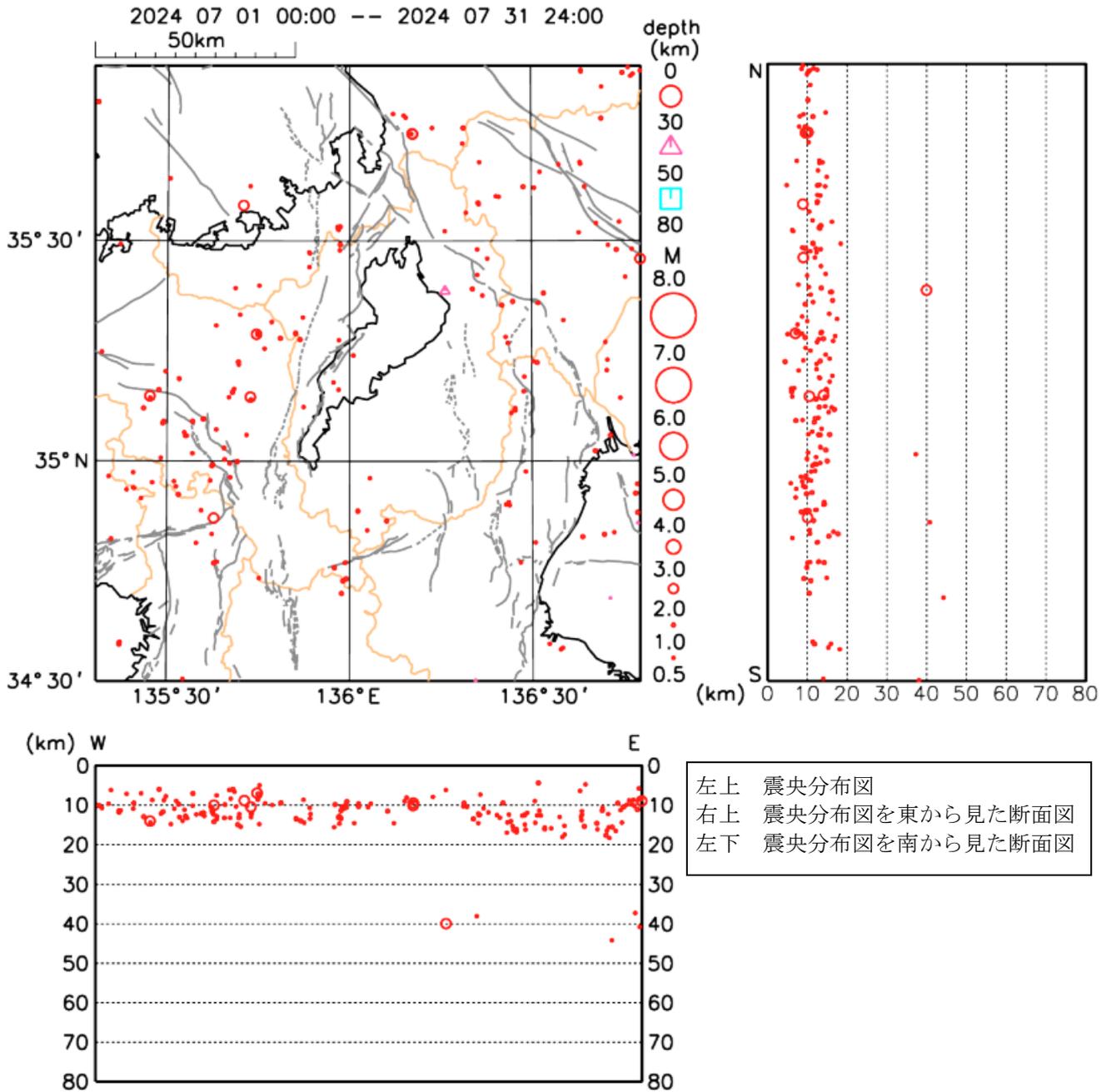
全国の地震火山活動概況、震源要素、震度データは気象庁ホームページに掲載しています。以下のアドレス「地震・津波・火山」からお知りになりたい項目をクリックしてください。

<https://www.jma.go.jp/jma/menu/menureport.html>

彦根地方気象台



(3) 断面図(深さ 80km までの地震)



【解説】

深さ数 km～約 20km に分布している地震は陸側のプレート内で発生した地震（地殻内地震）、深さ約 30km～約 60km に分布している地震は主として沈み込むフィリピン海プレート内の地震です。

#### **(4) 滋賀県で震度1以上を観測した地震の表**

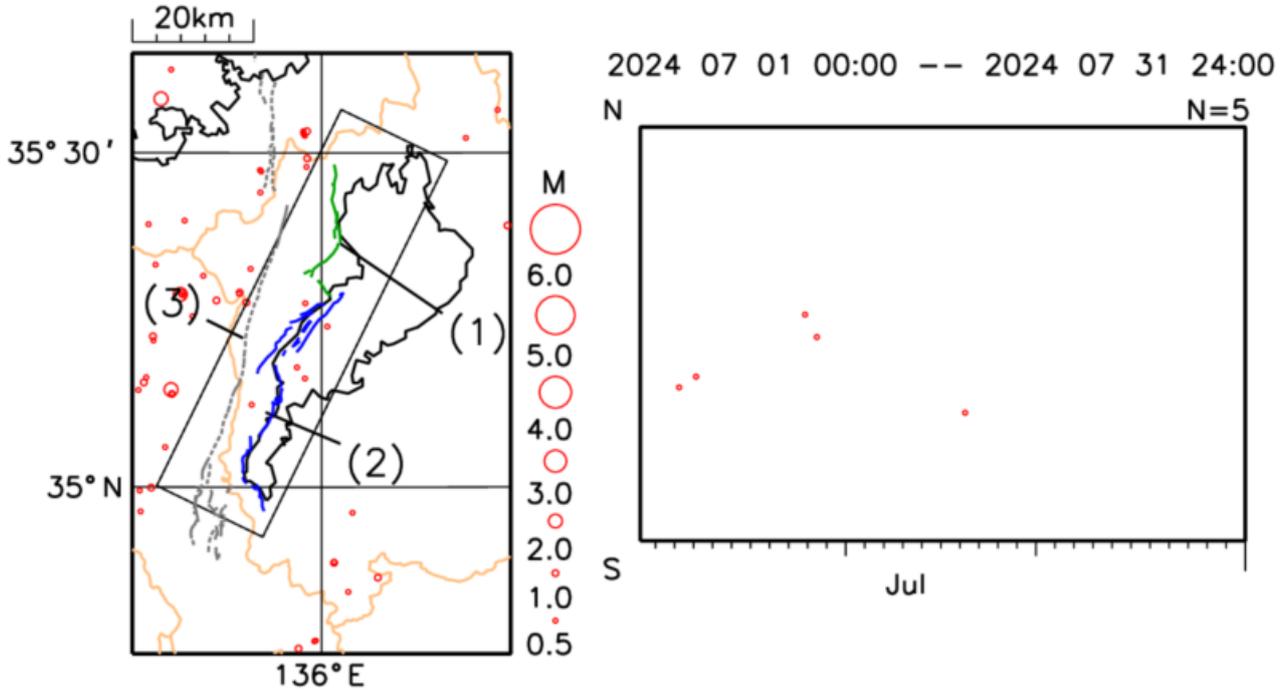
7月に滋賀県内で震度1以上の揺れを観測した地震はありませんでした。

#### **(5) 滋賀県で震度1以上を観測した地震の震度分布**

7月に滋賀県内で震度1以上の揺れを観測した地震はありませんでした。

## 2 琵琶湖西岸断層帯周辺の地震活動(令和6年7月)

### (1) 震央分布図・時空間分布図・地震活動経過図(深さ30kmまでの地震)



#### (上) 震央分布図

深さ30km以下の地震を表示。断層帯に沿った矩形領域内の地震の活動経過を右に表示。

図中の太線は、断層帯の概略位置。線種は活断層の存在の確実度(実線部>破線部)を表しています。

- (1) 琵琶湖西岸断層帯北部
- (2) 琵琶湖西岸断層帯南部
- (3) 三方・花折断層帯

#### (右上) 時空間分布図

震央分布図の矩形領域内の地震を南北の軸(縦軸)に投影し、横軸に日時をとり、それぞれの地震を表示した図。

#### (右下) 地震活動経過図(規模別)

震央分布図の矩形領域内の地震について、縦軸にマグニチュード、横軸に日時をとり、それぞれの地震を表示した図。

#### 琵琶湖西岸断層帯について

琵琶湖西岸断層帯は、滋賀県高島市(旧マキノ町)から大津市国分付近に至る断層帯です。全体として長さは約59kmで、北北東-南南西方向に延びており、断層の西側が東側に対して相対的に隆起する逆断層です。

琵琶湖西岸断層帯は、断層帯北部と南部の2つの区間に分かれて活動すると推定されますが、全体が1つの区間として活動する可能性もあります。

断層帯北部ではM7.1程度の地震が発生すると推定され、今後30年以内にそのような地震が発生する確率は1~3%と推定されます。

断層帯南部ではM7.5程度の地震が発生すると推定され、今後30年以内にそのような地震が発生する確率はほぼ0%と推定されます。

(地震調査研究推進本部の長期評価(2009)による。ただし、地震発生確率の算定基準日は2024年1月1日。)

## (2) 概況

7月に震央分布図中の矩形領域内で観測されたM2.0以上の地震は0回(前月1回)で、同領域内の地震で震度1以上の揺れは観測されませんでした。

### 3 地震一口メモ

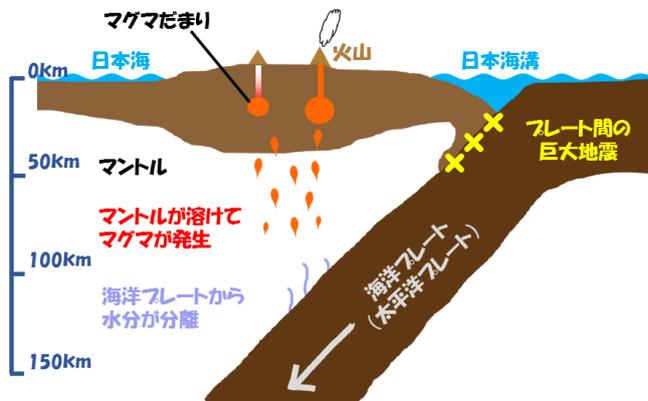
## 火山について

日本は地震の多い国ですが、世界にある活火山\*1のうち約7%が日本に存在するなど火山も多数存在しています。これは地震の原因となる地球のプレート運動が火山活動にも関係しているためです。火山は温泉や美しい景色など様々な魅力や恩恵をもたらす一方、ひとたび噴火が発生すれば大きな被害をもたらします。

気象庁では国内の活火山のうち50火山で地震計・傾斜計や監視カメラなどの火山観測施設を整備し、火山活動を24時間体制で常時観測・監視しています。これ以外の火山も含めて気象台職員が計画的に現地に赴いての観測を実施しており、噴火に伴って生命に危険を及ぼす火山現象の発生が予想される場合には、「警戒が必要な範囲」を明示して噴火警報を発表します。このうち噴火警戒レベル\*2を運用している火山では、噴火警戒レベルを付して発表します。

今年から8月26日が「火山防災の日」として制定されたこともあり、火山のある地域では講演会など周知啓発活動が行われています。これから秋の行楽シーズンにかけて山に登る機会もあると思いますが、天気予報を確認するだけでなく、火山の場合は現在の活動状況などを知っておくことも重要です。

- \*1 概ね一万年以内に噴火した火山及び現在活発な噴気のある火山を活火山と定義しており、日本では111の活火山があります。
- \*2 噴火警戒レベルは、火山活動の状況に応じて「警戒が必要な範囲」と防災機関や住民等の「とるべき防災対応」を5段階に区分して発表する指標です。



日本付近での火山発生の仕組み

種別	名称	対象範囲	噴火警戒レベル対象火山	噴火警戒レベル対象外火山
特別警報	噴火警報 (居住地域) または 噴火警報	居住地域及びそれより火口側	レベル5 (避難)	居住地域厳重警戒
			レベル4 (高齢者等避難)	
警報	噴火警報 (火口周辺) または 火口周辺警報	火口から居住地域近くまでの広い範囲の火口周辺	レベル3 (入山規制)	入山危険
			火口から少し離れた所までの火口周辺	レベル2 (火口周辺規制)
予報	噴火予報	火口内等	レベル1 (活火山であることに留意)	活火山であることに留意

噴火警報と噴火警戒レベルの関係

内閣府、火山防災強化推進都道県連盟主催イベント

<https://www.bousai.go.jp/kazan/bousainohievent/kinen.html>

気象庁HP 「火山防災の日」特設サイト

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/kazanbosai/index.html>

気象庁HP 火山登山者向け情報提供ページ

[https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/activity\\_info/map\\_0.html](https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/activity_info/map_0.html)